

10期 アクティブシニアをめざす科

～そして生きがい再発見～

日時： 9月22日（木）10時～12時

場所： 豊中市地域共生センター

テーマ：「地域の子供は地域で育てる」

講師： 松村幸裕子先生



《日本の子供の現状》

- ・子供の数は60年前からはほぼ半減
- ・30年前と比べ児童がいる世帯も半減
- ・3世代世帯は4分の1に減少
- ・1世帯あたりの児童数も減少

《北摂の子供たちと社会課題》

具体的な事例にて説明➡わかりやすかった

- ・子供の貧困(相対的貧困にある18歳未満の存在・生活状況をいう)
- ・発達障害(生まれつきの脳機能の発達の偏りによる障害)
- ・不登校(心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により30日以上欠席した者)
- ・ひきこもり(仕事や学校に行かず、かつ家族以外と交流せず6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態)
- ・ヤングケアラー(家族の介護や身の回りの世話を担う18歳未満の子供)
- ・放置子(親が仕事でいない、子供に関心がないなど放置されて育てている)
- ・児童虐待(身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4種類に分類)

※母子世帯(母・小5の長男・年長の長女)の1週間の行動表を作りました。

➡母親に全く余裕がなく、益々格差がついていくんだなと感じました。

《北摂の子供たちへのあの手この手》

- ・こども食堂
- ・子供の居場所づくり
- ・学習支援活動
- ・その他(・フリースクール・プレーパーク・子供地域通貨)

《まとめ》

※地域の子供たちに何が出来るか考え、子供たちの行動の背景を理解すること
それだけで子供たちもその親も、地域の中で生活しやすくなる
各々の立場で協力して「子供の居場所づくり」をしていきましょう。

《午後の活動報告》 13時～14時

- ・ラジオ体操・午前の振り返り
- ・地域活動の交流「おかまち子ども食堂」の取り組みの紹介
※月一回(第二土曜)の営業だが、資金的に苦戦、できることは協力したい。

14時～15時

・1班・成果発表会に向けて準備

2班：原田神社を訪問(写真)
原田神社渡辺宮司にインタビュー

(担当：福家)

